

みなかみの里の旬な話

みなかみの里在介 特殊詐欺に注意！編

STOP！！
特殊詐欺！

みなかみの里在宅介護支援センターでは、訪問時に、特殊詐欺の被害に遭わないよう呼びかけをしています。皆さんもご注意ください！

～だまされないで、こんな手口、こんな電話は「詐欺」のはじまり～

「払い戻しがある」「キャッシュカードを取り換える必要がある」は**詐欺！**

「携帯番号が変わった」「風邪ひいた」は**詐欺！**

「還付金がある」「ATMで手続きができる」は**詐欺！**

「口座が悪用されている」「キャッシュカードを確認しに行く」は**詐欺！**

対策！

- ・まずは家族に確認！
 - ・迷ったら警察に相談を！
- で詐欺の電話をシャットアウト！

みなかみの里の地域の皆様を支えられて、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

各事業所に苦情相談担当がおります。遠慮なくご意見をお寄せください。今後もサービスの向上に努めてまいります。

苦情受付0件

苦情報告

(令和五年四月～令和五年六月)

新型コロナウイルス感染症感染予防の観点からボランティア活動受け入れは中止しております。今後の受け入れ再開時にはよろしくお願いいたします。

ボランティア活動

(令和五年四月～令和五年六月)

池田 勇夫 様 (ポータブルトイレ)	手塚 誠 様 (オムツ・パット)	匿名 様 (肌着)	匿名 様 (オムツ・タオル)
--------------------	------------------	-----------	----------------

寄付金品

(令和五年四月～令和五年六月)

〒944-0025 新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785
URL:https://www.araikeinanfukushikai.or.jp

社会福祉法人 新井頤南福祉会
特別養護老人ホーム みなかみの里

令和5年7月号 No.116

みなかみの里

みなかみの里

令和5年7月号
No.116



表紙

暑い夏、ひまわり元気に咲きました！

各事業所の壁面飾りは、あじさいからひまわりに変わり、本格的な夏の訪れを感じます。利用者の皆様の力作をぜひご覧ください！

P2・P3

令和4年度 みなかみの里 事業報告

P4

みなかみの里の「旬」な話～「特殊詐欺に注意」編

基本理念

心温かな介護を通じ、生きる喜びと感動あふれる地域づくりを目指します！

- 1、人と地域を愛します
- 2、確かな介護を提供します
- 3、開かれた施設を目指します



社会福祉法人 新井頤南福祉会

特別養護老人ホーム みなかみの里
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-73-7733 FAX:0255-72-9785

みなかみの里デイ・サービスセンター
新潟県妙高市大字上新保549番地
TEL:0255-70-6688 FAX:0255-72-7308

URL:https://www.araikeinanfukushikai.or.jp

ケアハートみなかみ(ショートステイ)
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7756 FAX:0255-72-7854

みなかみの里在宅介護支援センター
新潟県妙高市大字上新保554番地1
TEL:0255-72-7321 FAX:0255-72-7308



令和4年度みなかみの里事業報告

◎令和4年度みなかみの里では、新型コロナウイルスのクラスター発生や周辺地域での流行により、利用や交流の制限があり、ご利用者・ご家族の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけしました。地域貢献活動も感染症防止対策の継続により限定的なものになってしまいました。そのような中ではありましたが、「事業継続計画書（BCP）」の制定や、介護ロボットや記録システムをはじめとしたICTツールを活用するなど業務の効率化に取り組み、各事業ごとに研修等を重ねたことにより、職員それぞれの意欲や専門性の向上につなげることができました。



今後ともよろしくお願いたします！

特別養護老人ホーム

①人権尊重と利用者本位の確かな介護の提供

- ・身体拘束や虐待防止等、様々な研修に取り組みました。
- ・認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修を受講しました。
- ・入院の原因となる疾病を分析し、効率的な水分補給に取り組みました。



認知症介護実践者研修とリーダー研修を受講しました！

②科学的介護の推進と業務の効率化

- ・新たに導入したコールシステムや様々な介護ロボットを活用し、業務の効率化に取り組みました。



ブログの更新回数は49回！今後も積極的な情報発信に努めます。

③感染予防の徹底と新しい生活様式下での家族や地域とのつながり方の検討

- ・裁縫ボランティアの方に枕カバーを作成していただきました。
- ・新たに設置した面会室を使用し、窓越しでの面会を実施しました。
- ・情報発信のため、積極的にブログの更新を行いました。

ショートステイ

①ICT利活用で多職種連携強化によるサービスの向上

- ・新コールシステムでは、主に夜間帯における巡回業務が効率的に実施でき、事故防止及び事故検証にも活用できました。
- ・記録システムでは、法人内事業所や多職種との情報共有や連携がスムーズとなり、ケアや個別機能訓練等のサービス向上につながりました。



ICTシステムの利活用や定期的な研修により、安心・安全なサービス提供を目指しました。

②感染症予防の徹底と新しい生活様式に対応したサービスの提供

- ・感染対応シミュレーション訓練を年2回以上実施しました。
- ・新しい生活様式に対応しながら、面会等の検討、対応を行いました。



③職員の専門性を高めて確かな介護の提供

- ・不適切ケア改善チームで、自らのケアを見直し、虐待防止・サービス向上につながりました。移乗方法検討チームでは、ノーリフトケアを主体とし、安全で安楽な移乗介助につながりました。

デイサービス

①短期入所と連動した機能訓練・栄養相談など多職種協働によるトータルサービスの提供

- ・機能訓練会議等で利用者情報を共有し、短期入所課と連携して訓練内容等を統一しました。
- ・日常生活動作の維持・向上が図れるように継続的で効果的な機能訓練をすすめました。



日常生活動作や社会活動参加等の目標を立案し、機能訓練を実施しました。

②ケアプランの質の向上と業務の効率化を図るための積極的な記録システムの活用

- ・記録システムとタブレットとの連動により、記録業務の効率化を図りました。
- ・記録システムを使用して、ケアプランの模擬作成を行いました。



システムを活用し、介護の質の向上を図りました。

③日課のプログラム化と利用者満足度の向上

- ・利用者の満足度向上に向けた日課プログラムに取り組みました。

居宅介護

①質の高いケアマネジメントの提供

- ・本人や家族が希望する在宅介護を支えるため、職員の資質向上をめざし、個別の研修計画に基づいた研修や事例検討を行い、スキルアップを図ることができました。



他事業所とも合同で事例検討をし、スキルアップを図りました。

②多職種や地域とのネットワーク強化

- ・コロナ禍で各機関と参集しての連携が難しい中、ZOOMやMCSをはじめとしたWEBツールを用い情報共有など連携が途切れないようにしました。
- ・パンフレット等を活用し、民生委員地域との顔の見える関係作りに努めました。



チームワークよくがんばります。

③身近な相談窓口としての機能強化

- ・広報誌やパンフレットを活用し、事業所の情報発信をし、PR活動に注力しました。